

そよ風



- 1～3 秋祭り
- 4 第52回重症心身障害児(者)を守る全国大会
- 5 自衛消防審査会
- 6 日本重症心身障害学会
重症心身障害療育学会
- 7 ネーム刺繍紹介・ムクドリ紹介
- 8 人事異動・編集後記

秋祭り

第3病棟 指導員 高橋 達也

少しずつ寒くなってきた10月、今年度は今までの「夏祭り」と「東大和フェスタ」が合体した「秋祭り」となりました。当日は生憎の雨となりましたが、毎年「東大和フェスタ」に来ていただいている、わくわく動物園や去年の「夏祭り」で大変な盛り上がりを見せたサンバにも来ていただきました。また、初の試みとなる移動水族館にも来ていただき、雨ではありましたが、大いにお楽しみいただけたかと思えます。私は模擬店係と病棟のアトラクションを担当していたのでステージの方はなかなか見られませんでした。模擬店の隣で開催されていた水族館を横目に見てみるとウニやナマコ、カニなど普段、利用者さんが目にしないような生き物たちがいるのがわかりました。更にはその生き物たちとふれあっている利用者さんたちの顔もいつもと違った経験のようで、とても良い表情をしていたのが印象的でした。水族館は雨のため縮小しての開催でしたが、次回は晴れの日に来ていただいて、もっとたくさんの海の生き物たちを見てみたいですね。





私が店番をしていた縁日コーナーには射的やピンボール、お祭りには欠かせないスーパーボールすくいやヨーヨー釣りがありました。射的は利用者さんでも簡単にできるような仕掛けになっており、この仕掛けを考えた職員に感心してしまいました。ヨーヨーとスーパーボールすくいは通所ではお馴染みの京王バスの方にお手伝いしていただき、こちらも大盛況でした。



ところで私は店番などで利用者さんと一緒にお店は回れなかったのですが、皆様はプレイルームのアトラクション「たまっしの妖怪屋敷」には行きましたか？準備の段階でしか私は見られなかったのですが、あの人気ゆるキャラに良く似たキャラクターがいましたね。東大和療育センターのキャラクターになるかは別として、妖怪屋敷の中の仕掛けが凝っていたので、入ってみたかったのですが入れませんでした。どなたか中でどのような仕掛けがあったのか、たまっしーが何者だったのか是非教えて下さい！



午後になると雨も止み日が差してきて、地域の方たちにも来ていただき「秋祭り」の盛り上がりも最高潮になってきました。正面玄関の利用者さんの皆様の手型や足型で作った看板の出来上がりに感動していただいたり、アトラクションを楽しんでいただいたりと地域の方との交流も楽しむことができました。ステージでは午前から合唱やジャズバンド、午後からはヨサコイなどが盛り上がりを見せ、最後には大迫力のサンバで初の「秋祭り」が締めくくりとなりました。

今回「夏祭り」・「東大和フェスタ」の合同となり、模擬店の店舗などが増えましたが、おもちゃ図書館の方や事務の方やボランティアの方など職員一同力を合わせることで無事に終えることができました。



これからも「秋祭り」は続くと思いますが、職員・ご家族・利用者さんの御意見、御協力を得て今年よりも来年、来年よりも再来年とより良い行事にしていきたいと思います。



第 52 回重症心身障害児(者)を守る全国大会に参加して

事務長 獅子野 秀美

6 月 27 日(土)から 2 日間、守る会の会員及び関係者約 1,100 人がヒルトン福岡シーホークに集い、標記の大会が開催されました。当センターからの参加者は、倉田院長、桑原看護部長、私の 3 人です。

初日は、厚生労働省障害福祉課長の講演に続き、4 グループに分かれて分科会が開かれました。私が参加した「重症児施設部会」では、パネリストの末光 茂先生(社会福祉法人旭川荘理事長)が、「総合支援法施行後 3 年の見直しへ向けた取り組み」と題する熱意あふれる提言をされ、私も感銘を受けました。先生のお話をいくつか紹介します。



1. 障害福祉サービス等報酬改定のために行われた国「調査」の結果が、全国の重症児者施設の実態を反映していない。結果、定員 61 人以上の施設では療養介護サービス費が減額となり、経営が困難である。早急の改善を求める。
2. 現在、超・準超重症児者に係る福祉面の加算が存在せず、重症児者施設の経営を圧迫している。緊急短期入所確保加算の単価も低すぎる。ともに、直ちに是正すべきである。
3. 重症児者の在宅生活を可能にするとともに、親(家族)の負担を軽減するため、医療面のバックアップがある短期入所ベッドの十分な確保とグループホームの整備とが、喫緊の課題である。

全員参加による翌日の「みんなで語ろう」では、20 人近くの切実な体験を伺うことができました。

1. 自分たちが古い、いなくなった後の子どものことを考えると、いてもたってもいられない気持である。行政官には、わが家で重症児者が生きている「現実」を、ご自分の目で見てもらいたい。
2. 体力的に子どもを自宅で看ることが限界に来ており、長期入所が叶う日を心待ちしているが、全然見通しがたたない。そうこうしているうちに、子どもの短期入所の申し込みも、ここ数年「狭き門」になった。せめて、短期入所だけでも必要なときにはいつでも利用できる社会であって欲しい、と強く願っている。

大会の最後に、「要望書」が、参加者の総意で採択されました。要望事項は次のとおりです。

「一日でも長く親子が地域で一緒に暮らせるように、重症児者施設においては、必要なときいつでも利用可能な短期入所ベッドの確保と、通所事業など地域支援体制の充実をお願いします(趣旨)。」

東大和療育センターは、「守る会の三原則」を「実践する」ための施設です。「最も弱いものをひとりももれなく守る」ために、日々の実践はこれで良いのか、前例に囚われず、より良いセンター運営を目標として今以上の力で取り組んでいきたい。毎年恒例の全国大会に参加した私たちは、このように決意を深め、帰宅の途に就きました。

〇〇 平成 27 年度自衛消防審査会 〇〇

事務部 庶務係長 阿部 靖

去る 9 月 15 日 (火) に北多摩西部消防署の主催する平成 27 年度自衛消防審査会が開催され、院内で行っている防災訓練の成果を発揮すべく自衛消防隊が参加しました。

消防設備である屋内消火栓は 2 人で操作する 1 号消火栓と 1 人で操作できる 2 号消火栓の 2 種類の消火栓があり、当センターの消火栓は 1 人で操作できる 2 号消火栓が設置されています。

この審査会は 1 号消火栓が 12 隊、2 号消火栓は 20 隊で合計 32 隊の参加があり、消火栓毎に優勝、準優勝、優秀賞、敢闘賞などの入賞があります。

今年の自衛消防隊は、指揮者が西村さん、1 番員が富樫さん、補欠が南雲さんの男女混成隊として参加を申込み、北多摩西部消防署で 8 月に 2 回、9 月に 1 回、暑い日は熱中症に気をつけ、小雨の日は濡れながら 119 番通報、号令、駆け足、放水といった練習を行い、自主練習も 2 回行い審査会当日に向けて練習に励みました。

審査会当日に指揮者が突然の都合により出場出来ないとの連絡が入り、急遽補欠の南雲さんが指揮者として参加することとなり、当日の朝から練習を始めました。出発は 11 時 30 分、審査会の開始は 12 時 10 分からと時間の無い中、防火管理者の獅子野事務長に協力をしていただき操法の確認を行いました。南雲さんは北多摩西部消防署での練習と自主練習で指揮者の操法を確認していたので当日の短い練習にもかかわらず他の隊に引けをとらない出来栄でした。

結果は残念ながら入賞とはなりませんでしたが、暑い日、小雨の日に練習した成果はいかなく発揮できたと感じました。



第 41 回日本重症心身障害学会に参加して

医局 医長 平山 恒憲

9 月 18 日 (金)、19 日 (土) の 2 日間にわたり、東京都千代田区の一橋講堂で第 41 回日本重症心身障害学会が開催されました。当センターからは、筆者と、2 棟田畑知久氏、1 棟松井由香氏の 3 名がポスター発表を行いました。



私は、「重症心身障害児 (者) における抗てんかん薬による甲状腺機能の検討」について発表いたしました。甲状腺機能低下は、従来から言われ

ていた抗てんかん薬の副作用の一つで、長期入所者の昨年度定期検査におけるデータを集計し、統計的処理を行ったものです。これは、当センターの第 23 回院内研究報告会をさらに発展させて考察を行ったものです。会場が少し狭くて、聴衆の皆さんは座って聞いてくださった方もおられました。同様に田畑氏、松井氏の発表も、院内研究報告会で優秀な発表をされて、その結果を学会報告にいたったものです。

たくさんの重症心身に関わる発表がありましたが、なかでも 19 日 (土) の口演で、筆者が毎月お世話になっている国立病院機構福島病院非常勤医師 (岩手医大) 小児外科の伊勢一哉先生の「声門閉鎖術」のご発表は、小児においては喉頭気管離断より腕頭動脈瘻や気管狭窄のリスクが低いという興味深い内容でした。毎月福島病院でお会いしているのので、話には聞いていたのですが、今後この術式も各地で広がることを願う次第です。

筆者のこの学会での発表は今回で 3 回目ですが、今後も当センターの研究発表が多く発表されることを祈念いたします。

第 26 回 重症心身障害療育学会学術集会に参加して

第 4 病棟 指導員 黒田 誠



10 月 1 日 (木) から 2 日 (金) に東京都多摩市にある文化施設「パルテノン多摩」で開催された、第 26 回 重症心身障害療育学会学術集会に参加してきました。

重症心身障害療育学会は、重症心身障害児 (者) にとってより良い療育とは何かを研究し、その普及を図ることを目的とした学会です。その学術集会で、東大和療育センターからは 2 つのテーマ『重症心身障害者病棟において終末期を迎えた長期利用者のケアを行うスタッフの体験』『立位・歩行が困難となった重症心身障害児 (者) にバランスボールを用いた座位保持トレーニング』の演題発表をおこないました。

自分たちの演題発表では、うまく研究成果を発表し伝えられるか不安でしたが、全国から集まった療育に携わる人々と、研究での取り組みと成果を共有することができ、とても充実した集会でした。

今回、学術集会に参加することで多くの問題に気付かされ、学ぶことができました。それと共に、全国にはたくさんの療育に携わる人がいるということと、真剣に療育に取り組んでいるということを実感することができました。学術集会の開催地の多摩市には、「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」というキャッチフレーズがあります。学会の目的と療育に携わる人々の思い、多摩市の目指すところ。みんな同じ目標に向かっているのではないかと感じさせられた 2 日間でした。

ユニフォームにネームを刺繍しました

看護部 看護科長 佐藤 幸子

看護部では、平成 25 年度からユニフォームに 6 色のスクラブを導入しました。ご家族や他部門の職員からは、「病棟が明るくなった」「看護師さん、指導員さんがきれいに見える」等の声が聞かれました。



今年度 4 月からは、写真のようにユニフォームの左胸ポケットの上にネーム刺繍をいれました。ネームとともに役職、職種も刺繍され、職員一人ひとりのイメージアップと勤労意欲の向上に繋がっています。

「動きがスムーズ」「今まで以上にユニフォーム姿が似合って、てきぱきと頼もしく感じる」等、評判も上々です。看護部職員はネームを刺繍したユニフォームを着用し、今後も質

の高い看護・療育サービスを提供していきます。



中庭のかわいい訪問者

副院長 鈴木 文晴



7 月のはじめ、外来前の中庭にかわいい訪問者が来てくれました。ひよどりのお母さんとヒナが 2 羽です。お母さん鳥はせっせとエサを運んでは、ヒナに与えています。子どもがかわいくて仕方ないという感じです。ヒナがいるということは、中庭の木に巣を作っていたはずなのですが、巣には気がつきませんでした。目立たないように上手に巣を作るのですね。



毎日ヒナの成長ぶりを楽しみに眺めていたのですが、ヒナも大きくなり、巣立ちが近づいてきました。今を逃してはヒナの写真も撮れないであろうと思い、ある日家から望遠レンズ付きのカメラを持ってきて、撮影しました。ヒナは木の枝の間にうまく隠れていて撮影はむずかしかったのですが、何とか 2 羽とも撮影できました。まあいい目がなんと愛らしいです。元気に巣立ち、大人になってまたまに顔を見せてほしいものです。

人事異動

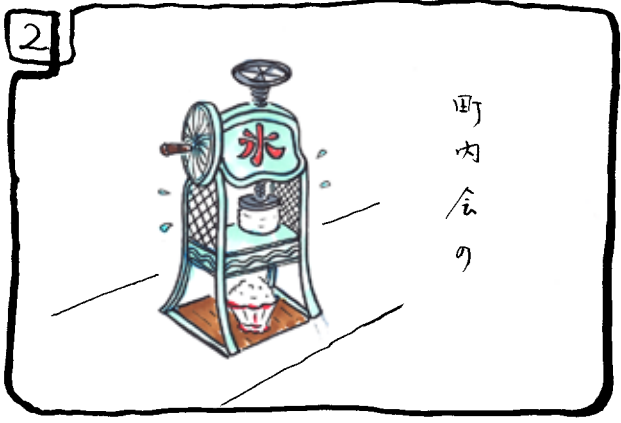
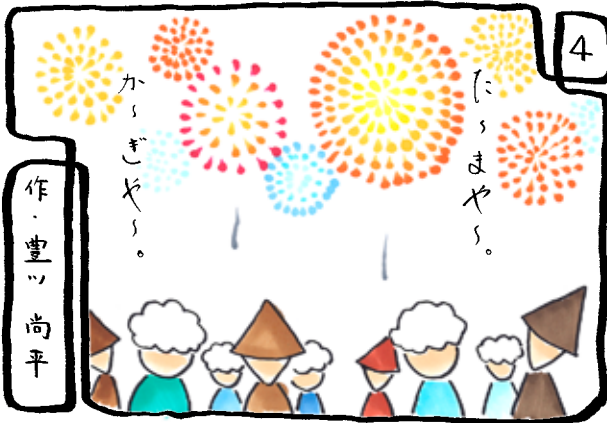
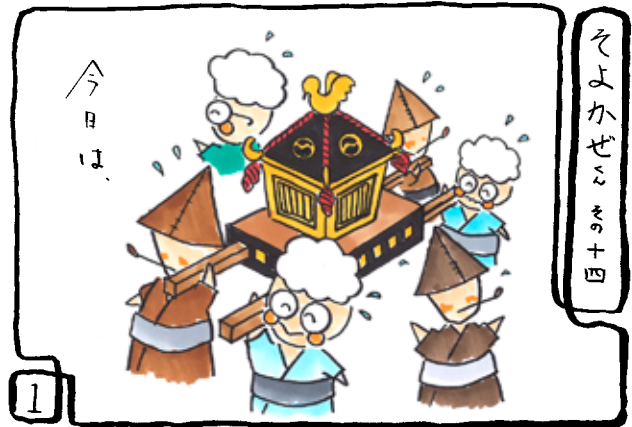
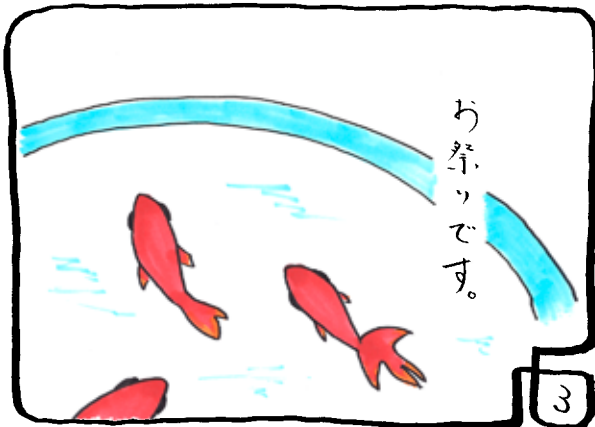
7月31日付退職
向後 史織 (看護師)

8月31日付退職
鈴木 聖子 (看護師)

8月1日付採用
長嶋 トモ子 (看護師)
8月から勤務させていただくことになりました。精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

10月1日付採用
松原 愛 (看護師)
初めてのことが多く、慣れるまでご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、利用者さんのために頑張りますが、利用者さんのために頑張りますが、よろしくお願いします。

11月1日付採用
宮岡 恵美子 (看護師)
初心を忘れず、「笑顔であいさつ」をモットーに、スキルアップを図っていきたく思います。よろしくお願いします。



編集後記

今年は夏祭りが諸事情で中止された分、秋祭りで盛り上がるよう、また利用者さん家族の方に楽しんでいただけるよう取り組みました。皆さんいかがだったでしょうか？
今回、広報にかかわり勤務して19年目の初体験でした。色々な方の協力によりそよ風が出来上がることを知りました。より多くの方に、センターの内容をお伝えできたか不安です。新たなセンターの魅力を今後もお伝えできるよう頑張ります。(MIWA)

秋の夜長に虫の声、なんだか心がほっとリラックスするひと時です。そよ風を読んでいただいた方が、そんな気持ちになってもらえるとうれしいです。(T.T)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風第 82 号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 平成 27 年 11 月 15 日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10
☎ 042-567-0222
印刷 有限会社 はじめ印刷
☎ 042-560-3031